



東中学校 学校だより



10月号(令和6年10月11日発行) 学校HP

TEL 042-471-2765 FAX 042-472-7995

読書の秋・・・本を読もう

校長 中川 義弘

ようやく秋らしい季節になってきました。学校は文化祭に向けて、生徒達の自主的な活動と日々の授業に集中して取り組む姿が見られます。様々なことに打ち込みやすいこの時期を大切に過ごしてほしいです。

さて、文化庁が実施した2023年度の「国語に関する世論調査」の結果が先月公表されました。この調査は2008年度から5年ごとに実施されています。全国の16歳以上の6000人を対象に実施し、59.3%から回答を得たそうです。公表された翌日の新聞各社の記事には、読書離れについて大きく取り上げられていました。『「本読まない」6割超』『「読書 月ゼロ冊」6割』『本「読まない」急増6割』など。調査では1カ月に読む本(電子書籍を含む。雑誌・漫画は除く)の数について、「読まない」との回答が62.6%と、初めて半数を超え、過去最多になった。前回調査から15.3ポイント増えた。と報じています。読書量が減っている理由として、「情報機器で時間がとられる」とした人が43.6%で最も多く、年齢が低いほどその傾向が高かったそうです。本校でも全国学力・学習状況調査の結果では、家庭でSNSやゲームに時間を費やしている生徒が増えている傾向がみられます。

読書は心の栄養とも言われます。情報収集のツールとしてだけでなく、思考力を深めたり、豊かな発想力を育んだり、心豊かな気持ちになったり、と良さが沢山あります。特に感受性が高く、成長過程にあるみんなには、読書は貴重な時間になると思います。令和5年度に実施した本校の生徒アンケートでは、「図書室の利用が増えた」という質問の肯定意見は60%で、他の質問に比べて低い結果でした。本校では、図書委員会の企画による読書週間が行われています。また、図書館司書さんのみでなく、ボランティアの方が金曜日の午後に来校し図書室を開放しています。忙しい毎日を過ごしていると思いますが、時にはスマホの時間を読書の時間に代えて、心豊かな時間を過ごしてみたいかがでしょうか。ちなみに、今年度1学期に一番多く図書室を利用して本を借りた生徒へ図書委員会から表彰された多読賞の生徒は、17冊の本を借りていました。みんなでは是非、図書室を利用して下さい。そして、本を読みましょう。



○生徒会役員を紹介

9月27日(金)に生徒会役員を決める立会演説会と投票が行われました。皆、やる気のある生徒が立候補してくれて信任されました。今後、生徒会役員としてより良い東中になるよう活躍してくれることと思います。また、各奉仕委員会も2年生中心の新体制がスタートしました。新役員・奉仕委員のみなさん、よろしくお願いします。

生徒会長	2年〇組	●● ●●	さん
副会長	2年〇組	●● ●●	さん
副会長	1年〇組	●● ●●	さん
役員	2年〇組	●● ●●	さん
役員	2年〇組	●● ●●	さん
役員	1年〇組	●● ●●	さん



○舞台芸術巡回公演

9月26日(木)、文化庁による文化芸術による子供育成推進事業として劇団芸優座による巡回公演が行われました。1学期にもワークショップが行われましたが、今回は東中の生徒も劇団員の方と共演して、第一幕「幕が上がるまで」と第二幕「うた時計」を堂々と演じてくれました。生徒みんなで演劇鑑賞を楽しみました。



○温かいスープ付きスクールランチ

10月2日(水)、温かいスープ付きスクールランチのテスト提供がありました。当日は野菜たっぷりのみそけんちん汁が付いた和食のメニューでした。温かいみそけんちん汁をみんなおいしくいただいていた。東久留米市では来年度中の導入に向けて準備をすすめています。



○データヘルス授業

10月5日(土)、1年生保健体育の授業でデータヘルス授業が行われました。東久留米市教育委員会からの紹介で東京大学未来ビジョン研究センターより講師を招き、健康な生活と疾病予防に関する授業が行われました。生徒が健康で生き生きとした生活を送るために役立つ知識や最新の情報を提供していただき、運動・食事・睡眠の大切さを学びました。データを活用して分かりやすい説明があり、生徒は自分事として健康な生活行動を真剣に考えていました。

